

研究課題名

Distal bypass 患者における起炎菌の検討:診療記録を用いた後ろ向き観察研究

研究責任者の氏名

中村 康人

共同研究者の氏名

熊田 佳孝、石田 成吏洋、河合 憲一

研究の目的及び方法

高度慢性虚血肢足壊疽（CLTI）患者で足壊疽を伴っている場合は内科的治療で治癒することは通常なく、distal bypass とデブリードマンが必要になり、足壊疽に対する抗菌薬治療が必要である。しかし、CLTI では血流が悪いため血液培養が陰性になることが多く起炎菌がわからないことがある。

Distal bypass 手術時にデブリードマンを行い、腱・腐骨を培養に提出しているため、培養結果を用いて起炎菌の検討を行う。

2017年1月1日から2023年3月31日に、distal bypass 手術を行った患者のうち、デブリードマンを行い腱・腐骨を培養に提出した患者を対象とする。

利用する情報項目

対象患者の年齢、既往歴、血液データ、デブリードマン施工時の腱・腐骨の培養結果を用いる。

利用するものの範囲

中村 康人、熊田 佳孝、石田 成吏洋、河合 憲一

連絡先

松波総合病院 心臓血管外科 中村 康人

TEL : 058-388-0111

FAX : 058-388-4711